

身近な野生動物にエサを与えないで！！

あなたがあげているそのエサ・・・ちょっと待って！

ハト、カラス、スズメ、キツネなどの野生動物たちは、厳しい自然環境の中で、自分の力でエサを確保する能力が備わっており、たくましく生活しています。

野性動物はペットではないので、人からエサをもらうことは、本来の野生動物の姿ではありません。

そのエサやり、動物のためになりません！！



餌付けは動物のためにも人のためにもなりません！

餌付けによって人の食べ物の味を覚えた野生動物は、人の食べ物に依存するようになり、人をおそれなくなって、人との距離が近付いてしまいます。

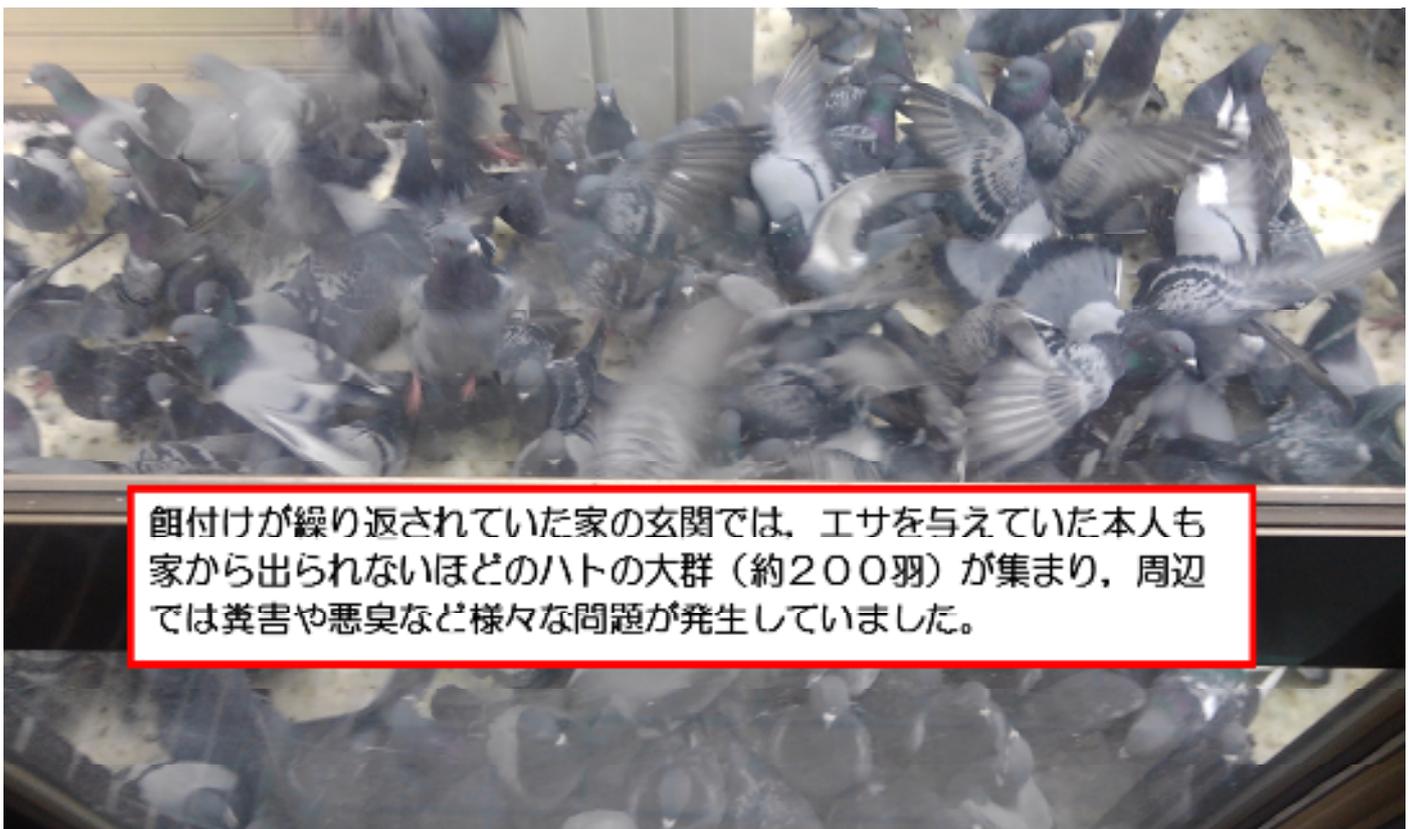
こうして人に近付きすぎた結果、農業被害や人的被害を引き起こす原因となる場合もあり、被害防止のため駆除の対象とされて命を落とす動物が発生してしまうのです。

また、糞害や悪臭などによって、近所の方々とのトラブルの原因となってしまうことがあります。実際に、訴訟を起こされて損害賠償の支払を命じられたという事例もあります。

人の食べ物の味を覚えてしまうと、ゴミステーションを荒らしたりします

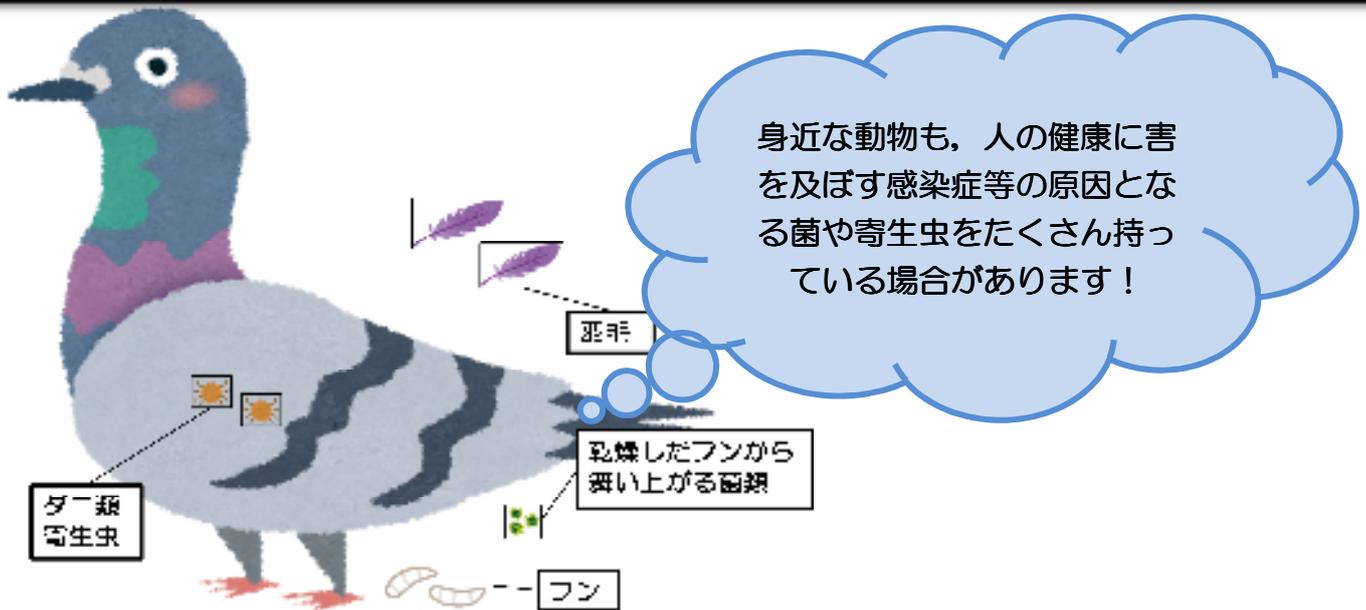


駆除されてしまうことも・・・



餌付けが繰り返されていた家の玄関では、エサを与えていた本人も家から出られないほどのハトの大群（約200羽）が集まり、周辺では糞害や悪臭など様々な問題が発生していました。

野生動物にエサを与える(餌付け)行為は、様々な問題を引き起こす可能性があります！



○ 生活環境被害

- ・フンによる悪臭、家屋や自家用車の汚損や破損
- ・鳴き声などによる騒音
- ・ガーデニングなどの屋外活動に支障
- ・飛び出してきた動物との交通事故など
- ・ごみステーションの汚損、悪臭

○ 動物たちへの影響

- ・自分でエサをとる能力が失われる
- ・交通事故などで命を落とす
- ・自然界にはない調味料や添加物で病気になる
- ・有害鳥獣として駆除される
- ・エサに集まる動物たちの間で感染症などの発生、さらに周囲へ拡大する危険性の増加
- ・餌付けされる動物のみ生息数が増加し、生態系のバランスが乱れる

○ 人間への健康被害

(免疫力の低い子どもや高齢者に感染しやすく症状も重くなる傾向があります。)

- 1 フンなどを原因とするもの(乾燥したフンの飛沫からの感染が多い)
 - ・エキノкокクス症, サルモネラ症, オウム病, クリプトコックス症など
- 2 蚊やダニ類, 寄生虫等を原因とするもの
 - ・ダニ媒介性脳炎, そのほか様々な感染症や各種アレルギーなど
- 3 その他(動物に咬まれたり, 羽毛などからによるもの)
 - ・アレルギー性喘息, 狂犬病, 破傷風など

皆様へのお願いです！

弱っている動物を助けてあげたい, 動物がかわいいという気持ちを否定するものではありませんが, 野生動物たちは厳しい自然の中で, 自分の力でエサをとって生きていくことで生態系が維持されています。

動物を大切にしたい気持ちがあっても, エサを与えるのではなく, 自然の姿のまま見守ってあげましょう。

問合せ先

旭川市環境部
環境総務課 環境保全係
電話：0166-25-5350